

職人のこだわりの切れ味と美しさ

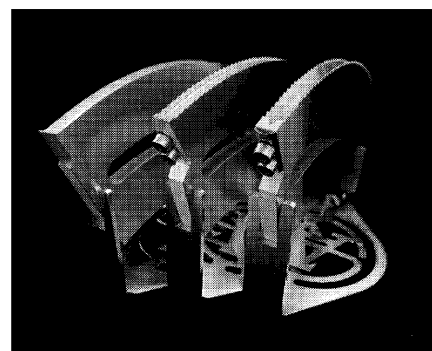
自分が納得できる製品を

製造部で仕切上刃の刃付け加工を担当している。グラインダーを使って刃先を仕上げる工程で、製品の美しさや切れ味、耐久性を左右する重要な作業だ。高校卒業後すぐに入社し、今年で20年。ほぼ一貫してこの工程に携わっており、現在



製造部 幾島 純也氏

は指導する立場となった。仕切上刃の刃付けは機械ではなく手作業で、誰にでもできる仕事ではない。細かい作業が多く、感覚と経験がものをいう。最初は失敗ばかりだったが、数をこなすことで技術を身につけた時、納期が迫っていたこともあり、急ぎ手作業で対応したことがある。無事に間に合わせることで、社内から感謝された。自分の技術が役に立ったと実感した瞬間だった。会社は自由な雰囲気、意見も言いやすい。すべてが通るわけではないが、耳を傾けてくれる。今後は経験の浅い社員でも刃付けができるよう、作業マニュアルが作れたらと思うている。若い社員には失敗を恐れず挑戦してほしい。自分もそうやって技術を磨いてきた。



付加価値の高い段ボール加工用刃物

近畿双物工業株式会社
紙管・段ボール用刃物製造専門

〒570-0003 大阪府守口市大日町3丁目33番12号
TEL.06-6901-1221 FAX.06-6905-9713
<https://kinkihamono.co.jp/>

顧客の要望に応える

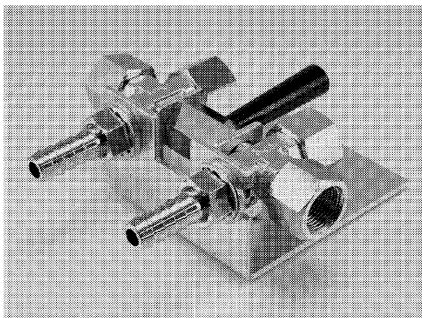
唯一無二のオーダーメイド製品で差別化

技術管理部の責任者として、バルブや継ぎ手の設計・開発・改良を担っている。当社はファブレス企業で、協力工場との連携が必須となる。入社当初は協力工場の現場に通い詰め、製造技術や加工の勘所を徹底的に学んだ。図面一枚揃く



技術管理部 次長 水田 勇氏

顧客ごとの専用設計が主流になりつつある。形状、材質、ハンドルの仕様まで細かく対応する。ヒット製品が生まれれば、設計者としての手応えも大きい。これからは環境対応も避けて通れない。鉛や銅を含む素材の見直し、加工性に優れたステンレス材の採用など、品質と環境の両立を模索している。鉄道関連製品では専用のJIS規格に基づく試験も実施。新分野への挑戦には課題がつきものだが、乗り越えなければ成長はない。部下は20代と30代。年齢差はあるが、遠慮せず前に出てほしい。フォローは必ず自分がする。当社には設計だけでなく試験や測定まで経験できる環境がある。若手にはその強みを生かしてほしい。



オーダーメイド製品

ASOH® アソー株式会社
Valve & Fitting Brand

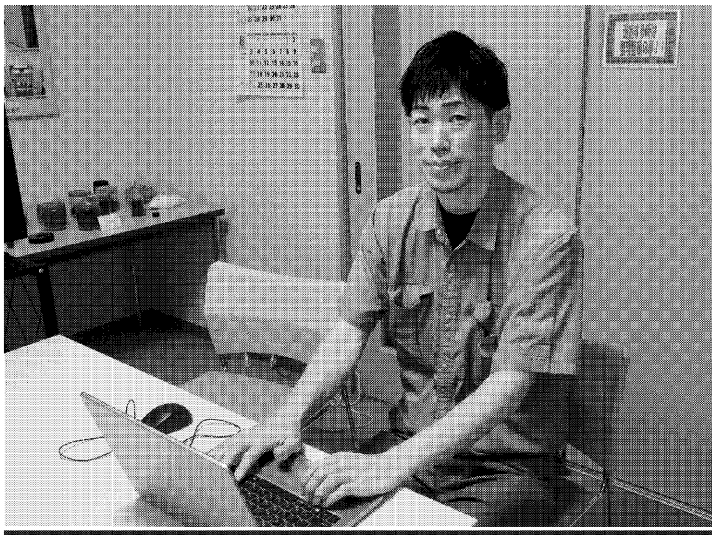
〒544-0004 大阪市生野区巽北4-14-21
TEL.06-6755-3301 FAX.06-6755-3808
<https://www.asoh.co.jp/>

技術と情熱の最前線

— 受け継がれる現場力 —

日本のものづくりを支えているのは、最新の設備や技術だけではなく。日々の現場で黙々と作業に取り組み、品質と効率を追求する社員一人ひとりの努力と情熱こそが、企業の成長を支える原動力です。本特集では、現場で活躍する優秀な社員たちにスポットを当て、その仕事への誇り、技術へのこだわり、そして仲間との絆を紹介します。製品の精度を守る職人技、

チームをまとめるリーダーシップ、現場改善への挑戦—それぞれの現場に、それぞれのドラマがあります。普段はなかなか表に出ることのない“現場の主役”たちの素顔に迫り、モノづくりの現場に息づく熱意と信念をお届けします。彼らの姿から、働くことの意味や、未来をつくる力を感じていただければ幸いです。



製造本部 福光工場 加工部 部長 土田 淳也氏

現在、製造本部加工部の部長として、4工場の統括を担っている。業務の割り振り、品質や不良の監視、目標管理など、加工部全体の流れを見ながら日々改善に取り組んでいる。たまに現場に立つこともあり、若手や中堅社員への技術継承、資格取得の支援にも力を入れている。入社して22年。金沢工場でのNC旋盤を中心に機械加工を学び、福光工場の立ち上げに携わった。樹脂加工は金属と違い、クランプ時の圧力で変形する繊細な工程。治具の工夫や刃物軌道の最適化など、細部にまで気を配る必要がある。「現状維持は衰退の始まり」とこの言葉を信条に、常に製品と向き合い、少しでも良くする方法を探し続けている。電力会社向けの成型品のバリ取り作業を機械化したプロジェクトでは、2年かけて現場で試行錯誤を重ね、ようやく形にできた。利益率も大きく向上し、会社への貢献も果たせた。今後は加工機とロボットハンドを活用した自動化に挑みたい。人手不足が進む中、大きな課題だが、皆と力を合わせて乗り越えていきたい。加工部として会社に貢献し、経営理念「すべてはみんなの幸せ。笑顔のために」を、もっと強く実現していきたい。



ニーズに応える製品群

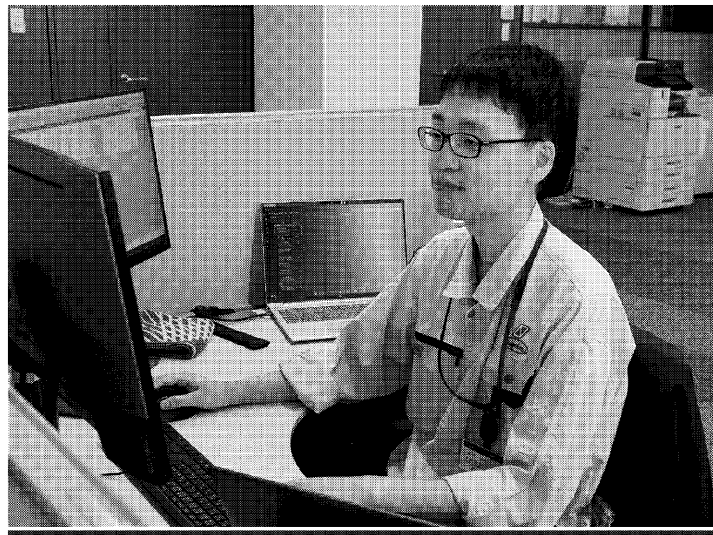
NCI 中原化成工業株式会社

〒547-0032 大阪市平野区流町4丁目11番9号
TEL.06-6709-4080 FAX.06-6799-1222
<https://nakahara-kk.co.jp/>

電磁気学から

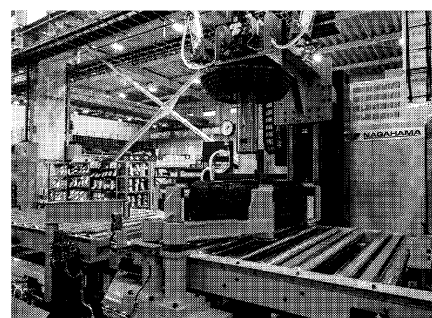
バランスングマシン設計へ現場で得た経験値

大学では電磁気学を専攻していたが、他では経験できないニッチな業界に興味を持ち、当社を選んだ。入社後は製造部で1年間、主力製品であるバランスングマシンの基礎を学び、その後制御システム設計課へ異動。現在はバランスングマシンの電気系統設計を担当している。回路図作成やプログラミングを中心に業務を行っている。用途によって構造や動きが異なるため、案件ごとに異なる課題がある。大学で研究した内容とは違っ分野だが、電気的知識



技術部 制御システム設計課 宇高 亜留氏

は生かすことができていた。バランスングマシンといっても、完全に同じものばかりではなく、用途が変わると動きが複雑になったり、機械が大型化したりする。同じような案件をこなしつつ、慣れれば上司が経験やスキルを考慮し、それにあった難易度のものを割り振っている。最初の頃は、自分のシミュレーション通りに動かないことも多く、プログラミング上は正しいと思うけど、試運転をしたら違う動きをすることもあった。その時はひたすら原因を追及し、試行錯誤を繰り返して完成に近づけていった。多角的に考える必要があるため、経験値がものを言う。現在はいくつかの案件をこなし、経験をたくさん積み重ねてきている。



タイヤのバランスを測定するバランスングマシン

NAGAHAMA

株式会社 長浜製作所

〒569-1013 大阪府高槻市成合南の町6-1
TEL.072-647-1101代
<https://nagahama.co.jp/>